



海藻で押し葉作り！



色とりどりの海藻の美しさに気付く

磯には形や色彩の豊かな様々な種類の海藻が生えています。その海藻を自由にレイアウトしながら楽しむことのできるプログラムです。工夫次第で様々な絵を描けます。

対象 幼児～大人

場所 磯 ※押し葉作りは屋内推奨

時間 2時間(乾燥に1～3日)
※海藻を採集する場合は2～4月に実施

2. 準備の前に…

1. 用意するもの

- ①軍手
- ②バケツ
- ③バット
- ④ピンセット
- ⑤すのこ板
- ⑥はさみ
- ⑦新聞紙
- ⑧厚紙(画用紙、はがき等)
使用する海藻の大きさに合わせる
- ⑨布(化学繊維)
厚紙を覆える大きさ
- ⑩ダンボール
厚紙を覆える大きさ
- ⑪扇風機

※その他に着替え・帽子・タオルなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



2. 事前の準備

海藻の流れ着く場所を確認

- ・海藻は岩場に生え、外海から流れ着いてきます。外海に面した海藻が流れ着きやすい海岸を探しましょう。

海藻が手に入らない時は…

- ・海藻が手に入らない場合はスーパーなどで販売している海藻サラダの海藻を代用することが出来ます。

※海藻の採集時の注意事項に関してはp. 30 磯の観察会の【事前の準備】を参照してください。

※海藻を採集する際は事前に漁協や自治体に連絡をいれましょう。

プログラムの本番！

1. 海藻を採集・準備(約50分)

①海藻の採集

磯の周りは滑りやすく、危険な生物もいるので事前にそれらの注意事項を説明してから海藻を採集しましょう。
新鮮な海藻を選ぶとよりキレイです。

②海藻の洗浄・塩抜き

採集した海藻は水でよく洗います。洗い終えたものはバケツにため置いた水に浸して塩抜きします。
肉厚のものは10分、薄いものは数分で塩が抜けます。



2. 海藻押し葉作り(約60分)

①海藻を飾ろう！

バットに厚紙を入れて水を張ります。このバットに飾りたい海藻を入れ、ピンセットを使いながら水中で広げます。海藻がキレイに広がるように一枚一枚丁寧に飾りましょう。
大きな海藻はハサミで切って使います。
配置し終わったら、形が崩れないように厚紙を水からゆっくり引き揚げます。

②水切り

すのこ板を斜めに立てかけ、飾った厚紙を置いて5分程水気を切ります。

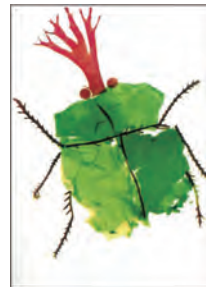
③乾燥

水気が切れたら厚紙の上に布をかけ、海藻がくっつかないようにします。その上下を新聞紙で挟み、さらに上下を段ボールで挟みます。※この時 段ボールの目が一方向になるように揃える。
参加者の分を全て重ねたら上に重石を置き、段ボールの目の方向から扇風機で風を送り乾燥させます。薄い海藻のみなら一晩、肉厚なものは3日ほどで乾燥できます。



3. 完成！(約10分)

乾燥が完了したら、新聞紙や布を外します。
海藻がはがれてしまったら、糊付けします。
ラミネート加工すると長期間保存することが出来ます。



ココがポイント

海藻の旬は2～4月

海藻は冬の終わりから春の始まりが最も採れやすいです。潮を確認して干潮時を狙うと大量の海藻を拾うことができます。

海藻は冷凍保存も可能

2～4月以外にプログラムを実施したい場合は予め、旬の時期に採り貯めておきましょう。
採集した海藻はタッパーやジッパー付きのビニール袋に詰めて冷凍保存してください。

